

令和5年3月27日

牟佐町内会会員各位

牟佐町内会  
会長 田尻祐二

## 令和5年度牟佐町内会総会結果のお知らせ

日頃から、町内会活動にご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年に引き続き本年度の総会も、新型コロナウイルス感染防止のため、役員会議の規模にて開催することとし、委任状をご提出いただきました。ご協力くださいました皆様に心から感謝申し上げます。今年度役員等出席者で議論し原案のとおり決定させていただきました。

その結果について下記のとおりご報告します。

### 記

◆日時：令和5年3月11日(土) 午後7時～午後8時

◆会場：北公民館牟佐分館広間

#### ◆総会の資格審査

出席者 35名(役員等+総会役員+オンライン0名)

委任状 679名

計714名※(会員総数967名)

#### ◆議決結果

次の議案について採決したところ、いずれも原案どおり賛成多数にて可決されました。

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度収支決算について

第3号議案 令和5年度事業計画(案)について

第4号議案 令和5年度収支予算(案)について

第5号議案 役員改選について※

※ 町内会規約第11条に基づき、任期を迎えた会長及び監事について、別途、役員推薦会議を招集し次のとおり推薦。総会にて決定されました。

会長 田尻祐二(寿地区:再任)

監事 平井 誠(渡場地区:再任)

大角正秀(桜地区:再任)

◆主な質疑 なし

#### ◆総会資料

当日の配布資料は別添のとおり

以上

第1号議案

令和4年度事業報告

年月日	項目	内容
令和4年2月3日 2月3日 2月26日	会計監査 四役会議 中止(コロナ禍)	町内会会計監査(公民館) 町内会四役会議 第6回役員会議を予定するも、新型コロナウイルスまん延防止重点措置の延期(~3/6)により中止
3月13日 3月18日 3月25日 3月26日 3月26日 3月29日 3月31日	区づくり推進事業 日本遺産 四役会議 連合町内会 総会・役員会議 資源化リサイクル 環境事業課	西本さん(前寿地区会長)と操山公園里山センター視察 西遊旅行(東京)古墳ツアー受け入れ 町内会四役会議 牧石学区連合町内会会長連絡会 牟佐町内会通常総会および第1回役員会議 資源化物回収報奨金申請手続き 牟佐公園トイレ清掃補助申請提出
4月1日 4月4日 4月7日 4月7日 4月15日 4月20日 4月26日 4月27日 4月27日 4月29日	警察学校 防災・減災 区づくり推進事業 区づくり推進事業 四役会議 区づくり推進事業 通行止め 総会・役員会議 刑務所 連合町内会	警察学校訪問、校長あいさつ(大原町内会赤木会長と) ハザードマップ(牧石学区)印刷発注 みそ加工自動発酵機納入設置 イノシシ革加工ハンドプレス納入 町内会四役会議 R3年度事業報告書提出 中電工、新大原橋側道通行止め説明会 通常総会報告書作成・印刷 岡山刑務所長訪問、挨拶 牧石学区連合町内会役員会議
5月6日 5月7日 5月11日 5月12日 5月12日 5月14日 5月14日 5月16日 5月17日 5月21日 5月21日 5月23日	県民局 町内会新聞 防災・減災 四役会議 町内会新聞 連合町内会 役員会議 防災・減災 軽トラ 地区社協 学区コミュニティ協 日赤	地蔵川樹木伐採現地調査立ち合い 電子町内会運営委員会で町内会新聞第39号の編集作業 新土のう置き場(新大原橋下)北区地域整備課現地確認立ち合い 町内会四役会議 町内会新聞第39号(6月1日号)印刷発注 牧石学区連合町内会総会 第2回牟佐町内会役員会議 急傾斜地防災対策説明会 軽自動車税公益減免申請 牧石学区社会福祉協議会常任理事会 牧石学区コミュニティ協議会常任理事会 日本赤十字社牟佐町内会分会費納付(市役所)
6月1日 6月2日 6月5日 6月5日 6月5日 6月6日 6月20日	町内会新聞 四役会議 道・溝掃除 防災・減災 アパート対応 道・溝掃除 公民館	町内会新聞第39号発行 町内会四役会議 町内一斉道・溝掃除および刑務所東側石原川清掃 備蓄土のう作り直し(牟佐公園南)、新たな備蓄場所の新大原橋下へ移送 新アパート帰属について、西条・大塚間の境界協議 草・泥土撤去要望提出(北区農林) 北公民館牟佐分館へのエアコン1台、更新設置完了
7月1日 7月2日 7月3日 7月4日 7月20日 7月22日 7月24日	四役会議 役員会議 防災・減災 高月合同用水 北区地域整備課 北区地域整備、農林 大東建託	町内会四役会議 町内会第3回役員会議 牟佐区による旧高月合同用水の清掃作業に参加 牟佐区による高月合同用水路の清掃実施 久保田地区内西岡鉄筋出口の雑木伐採完了 黒田団地市道西側、橋梁改良再度の立ち合い(北区地域整備課及び農林) 桜地区内グループホームおよびアパート建設説明
8月9日 8月11日 8月15日 8月19日 8月20日 8月21日 8月31日	防災・減災 敬老会 精霊送り 防災・減災 日本遺産 消防団 マイナンバーカード	岡山市からの貸し出しポンプ納品。大原排水機場北側設置。 牧石学区敬老会用名簿について、関係者で最終チェック シニアクラブ牟佐のボランティア対応(公民館および共選場の2会場) 貸出用ポンプの取り扱い説明(大原排水機場)、試運転 日本遺産古墳を楽しむプログラム実行委員会立ち上げ 消防団東牧石分団総会出席 マイナンバーカード出前申請受付日程決定
9月1日 9月2日 9月3日 9月16日 9月18日 9月22日 9月25日 9月26日	四役会議 防災・減災 役員会議 マイナンバーカード 防災・減災 マイナンバーカード クリーン作戦、道掃除 マイナンバーカード	町内会四役会議 貸出ポンプの設置場所調査立会(大原排水機場敷地内) 第4回町内会役員会議 マイナンバーカード出前申請受付(1回目)公民館牟佐分館16人 台風接近につき、無線機3台準備 マイナンバーカード出前申請受付(2回目)公民館牟佐分館18人 町内一斉道掃除、岡山市クリーン作戦 マイナンバーカード出前申請受付(3回目)公民館牟佐分館25人

9月26日 9月28日 9月30日	クリーン作戦、道掃除 通行止め 新大原橋	一斉清掃ごみの撤去要望 大塚地区内道路工事通行止め説明(岸一建設) 新大原橋寿地区側擁壁ツタの撤去および橋上草刈り要請
10月2日 10月3日 10月8日 10月9日 10月11日 10月16日 10月17日 10月18日 10月21日 10月23日 10月24日 10月25日 10月25日	アパート対応 資源化リサイクル 刑務所 刑務所 北区地域整備課 区づくり推進事業 防災・減災 四役会議 下水道 マイナンバーカード 区づくり推進事業 区づくり推進事業 資源化リサイクル	昭和会役員と町内会四役の協議会 岡山市へ上半期資源団体報奨金を申請 矯正展初日、産地牟佐塾イノシシ革製品と新鮮野菜で販売参画 矯正展二日目、産地牟佐塾イノシシ革製品と新鮮野菜で販売参画 高蔵神社アクセス道路の陥没等対応アポドリほか 「産地牟佐」手づくりみそ教室説明会 町内会の借受ポンプについて、市河川防災室と借り受け契約書にサイン 町内会四役会議 下水道ポンプ場用地の草刈り要請 マイナンバーカード出前申請受付(4回目)公民館牟佐分館28人 市役所1階ロビーでの野生鳥獣・林業振興パネル展にて、産地牟佐塾メンバーが「産地牟佐」イノシシ革製品販売(初日)。 市役所1階ロビーでの野生鳥獣・林業振興パネル展にて、産地牟佐塾メンバーが「産地牟佐」イノシシ革製品販売(2日目)。 岡山市へ上半期資源団体報奨金を申請
11月4日 11月5日 11月12日 11月12日 11月13日 11月20日 11月23日 11月24日 11月25日 11月27日	四役会議 役員会議 連合町内会 防災・減災 区づくり推進事業 牟佐地区こども園 日本遺産 野犬対策 区づくり推進事業 区づくり推進事業	町内会四役会議 町内会第5回役員会議 連合町内会会長連絡会 町内会ポンプの吸水管および排水ホース等格納作業(大原排水機場) 町内会大人のレジャークラフト教室、4年ぶりの開催 牟佐地区のこども園整備について、地元関係者に説明会 古墳を楽しむプログラム「牟佐大塚古墳と歴史ウォークver.4」実行委員会 保健所衛生課と大原町内にて野犬対策協議 伊原木県知事と生き活きトーク出席 牧山クラインガルテン収穫祭にて、産地牟佐塾メンバーが「産地牟佐」イノシシ革製品販売
12月4日 12月5日 12月10日 12月15日 12月18日 12月23日 12月27日 12月28日	日本遺産 下水道 町内会新聞 通行止め 牟佐地区こども園 県民局工務1課 農道舗装 防災・減災	古墳を楽しむプログラム「牟佐大塚古墳と歴史の道ウォークver.4」開催 町内での下水道管路整備の開始について業者あいさつ 電子町内会運営委員による町内会新聞第40号(1月1日号)編集会議 大東建託より通行止めについて、説明(桜地区内側溝整備による道路拡幅) 牟佐地区こども園整備に係る協議会設立 地蔵川の雑木伐採等現地調査立ち合い 北区農林水産振興課、舗装業者の寿地区内農道舗装現確認立ち合い 消防団東牧石分団、牧石分団夜警初日表敬
令和5年1月1日 1月6日 1月14日 1月15日 1月20日 1月20日 1月22日 1月28日 1月31日	町内会新聞 区づくり推進事業 連合町内会 牟佐地区こども園 区づくり推進事業 防災・減災 牟佐地区こども園 刑務所 区づくり推進事業	町内会新聞第40号発行 産地牟佐手づくりみそ教室のみそづくりスタート 牧石学区連合町内会会長連絡会 牟佐地区こども園整備について、岡山市より地元近隣地域への説明会 令和5年度事業に継続事業として申請 土砂災害特別警戒区域の急傾斜地事業実施説明受ける(市役所) 牟佐地区こども園整備に係る協議会第2回会議 刑事施設視察委員(任期1年)に、安藤洋一さん(寿地区)を推薦、提出 産地牟佐手づくりみそ教室のみそづくり仕込み終了
令和5年2月4日 2月4日 2月11日	会計監査 四役会議 役員会議 資源化リサイクル	町内会会計監査(公民館) 町内会四役会議 町内会第6回役員会議 資源化物を業者へ搬入

### 令和4年度主な事業の説明

#### 1 定例役員会議・四役会議

定例会議は、続くコロナ禍でしたが、感染防止対策に十分留意し、公民館にて、3月、5月、7月、9月、11月、2月の計6回開催。四役会議は、定期の定例会議前と必要に応じて随時開催しました。



5月14日役員会議でハザードマップを紹介

#### 2 牟佐大塚古墳と歴史の道ウォーク ver.4

12月4日、コロナ対策を十分に実施した上で、4回目を開催。町外から21名(町内8名)の参加で、植田章夫さん(旭)のスライド紹介「牟佐の歴史概観」で始まり、メインの草原文化財課長は急きょ欠席となりましたが、植田さんの絶妙の展開で、予定通りの時間で進行できました。高蔵神社扁額(市重要文化財)の見学から牟佐大塚古墳へ移動。

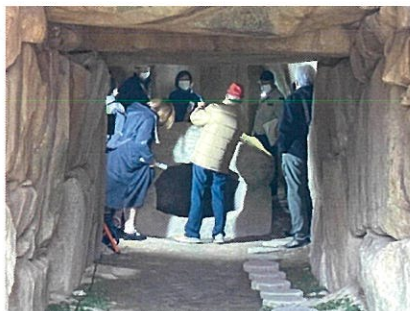


(歴史ウォーク動画)

古墳見学では、シニアクラブ牟佐(会長:鏡原憲二さん(昭和会))スタッフが発電機を使い古墳内を照らし、玄室内にて石棺を囲む見学者に直接説明。扁額の見学～渡場まで至るウォーク全体の案内役は平井誠さん(渡場)。参加者には「産地牟佐」のイノシシ革で作ったオリジナルタグを配布。公民館では「産地牟佐塾」の皆さんがイノシシ皮革製品を、農家の方には新鮮野菜の販売をお願いしました。



座学担当は植田章夫さん



大塚古墳紹介は鏡原憲二さん



高蔵神社扁額から渡場跡、屋号紹介、歴史ウォークのルート全体案内は、平井誠さん

#### 3 電子町内会運営委員会

コロナ禍をふまえ、オンライン(Zoom)の活用にも取り組み、毎月の会議を開催しました。電子町内会は2002年からの取り組みで、満21年。その間、ウェブサイト管理者は、変わらず安藤洋一さん(寿)に務めていただいて、運営委員会は毎月開催してきました。電子町内会のシステム改修により、途中から会議室機能がなくなったため、その機能として現在は Facebook グループを活用し、カレンダーは Google を活用。さらに、運営委員会は、町内会新聞の編集・発行を担っています(関連後掲5)。

#### 4 防災・減災対策

- (1) 災害時要支援者の避難行動支援個別計画について、牟佐げんきさんと協議を進めています。
- (2) 車を持たない避難者のための、送迎付き避難訓練の試行を計画するも、環太平洋大学側との調整つかず未実施。

## 5 町内会新聞の発行

コロナ禍でしたが、オンライン会議も活用しながら1月、6月の2回発行。電子町内会運営委員会が、取材、編集を行っています。アイデアを出し合いながら編集を続けています。



12月10日町内会新聞元旦号の編集会議

## 6 区づくり推進事業（平成29年度～令和4年度）

「産地牟佐」にこだわった地域の活性化をテーマに、平成29年度の区づくり推進事業に採用され、継続して取り組んでいます。岡山市から、初年度8割補助で、翌年度から5割補助となっています。

## (1) 事業の目標及び目標の達成について

まずは根本的な課題であった有害獣被害対策の捕獲駆除は、猟友会駆除班にお世話になり、町内会会計年度の1月末現在、町内での捕獲イノシシは、29頭という状況です。農作物への被害は続いています。比較的抑えられていると思われます。R4年度もなめすことが可能な皮を提供いただきました。

目標とした「大切な自然の恵みが身近に存在するということを知り、ワークショップ的に活用し、より地域に対する愛情、誇り、アイデンティティの醸成などにつないでいく。併せて、それらの資源を加工・販売し、町内に収益として還元できる可能性を探る。」でした。コロナ禍でしたが、健闘したと言えると思います。残念ながら、R4年度は「産地牟佐」ニホンミツバチの蜂蜜をゲットできませんでしたが、引き続きチャレンジをお願いしています。

続くコロナ禍で、「食」を中心とした事業の開催はできませんでしたが、獣皮を活用した「産地牟佐塾」だけは、ほぼ毎週開催し、「産地牟佐」イノシシ革製品づくりに取り組みました。「(2) 事業経過」のとおり、数々の機会に積極的に参画しました。R4年度も想定を超える販売金額となりました。

2021年6月～放送  
活動紹介動画

もう一つの目標の「地域に受け継がれてきた『産地牟佐』手づくりみその文化の灯を消すことなくその伝承を事業の目的に位置付けたい」については、R3年度から区づくり推進事業として位置づけた手づくりみそ教室の開催について、R4年度も町内回覧にて募集し、世代を超えて参画いただいた34名が R5年1月のほぼ1カ月をかけて、順番にみその仕込みを進めました。30年以上使用してきた自動発酵機が故障し、新たにリースとして最新の機械を導入（補助対象）することができました。



10月16日手づくりみそ教室説明会

(2) 事業経過

年 月 日	内 容
毎 週	ほぼ毎週木曜日の午後、「産地牟佐塾」を開催し、イノシシ革加工製品づくりに取り組む。
令和4年3月18日	西遊旅行(東京)の古墳ツアー受け入れ。北は北海道から南は九州までの8名+添乗員1名。終了後、公民館にて「産地牟佐」のイノシシ革製品を販売するとともに、ワークショップを楽しんでいた。
令和4年10月8日～ 10月9日	岡山刑務所において、4年ぶりに開催された矯正展に、町内会として2日間出店し、「産地牟佐」イノシシ革製品を販売するとともに、これまで廃棄されてきた獣皮を資源と捉え有効活用する取り組みの紹介とともに、イノシシ革に親しむワークショップを実施し、その理解増進に努めた。
令和4年10月16日	町内会回覧にて募った「産地牟佐」手づくりみそ教室参加希望者に説明会開催。世代を超えて約30名の参加があった。
令和4年10月24日～ 10月25日	岡山市役所1階ロビーにて二日間開催された野生鳥獣・林業振興パネル展に二日間出店し、「産地牟佐」イノシシ革製品を販売するとともに、これまで廃棄されてきた獣皮を資源と捉え有効活用する取り組みの紹介とともに、イノシシ革に親しむワークショップを実施し、その理解増進に努めた。
令和4年11月13日	町内会住民を対象として、「産地牟佐」のイノシシ革を材料として、4年ぶりに大人のレザークラフト教室を開催。参加者は約30名で、指導するのは作品作りを進めてきた地元「産地牟佐塾」の皆さん。この日は山陽新聞の取材もあり、その記事は11月15日付の岡山市民版で掲載、紹介された。
令和4年11月25日	区づくり推進事業である「産地牟佐」の取り組みが、令和3年度備前県民局より地域づくり推進賞を受賞している。その受賞団体の代表として、伊原木県知事との「生き生きトーク」への出席案内があり、出席。
令和4年11月27日	牧山クラインガルテン収穫祭での「産地牟佐」イノシシ革製品の販売および獣革に親しむワークショップを開催するとともに、これまで廃棄されてきた獣皮を資源と捉え有効活用する取り組みの紹介とともに、イノシシ革に親しむワークショップを実施し、その理解増進に努めた。
令和4年12月4日	「牟佐大塚古墳と歴史の道ウォーク ver.4」参加者に、「産地牟佐」イノシシ革特製タグを記念品として配布するとともに、「産地牟佐」イノシシ革製品の販売と獣革に親しむワークショップを開催
令和5年1月6日～ 1月31日	「産地牟佐」手づくりみそ教室の開催。約1か月間、JA岡山女性部の指導をいただきながら34名がみそづくりにチャレンジ。



10月24日市役所1階ロビー



1月9日みそ加工所



11月27日牧山クラインガルテン収穫祭

(3) 大人のレザークラフト教室

「産地牟佐」にこだわった事業を着実に継続し、11月13日には、4年ぶりとなる大人のレザークラフト教室を開催できました。公民館にて「産地牟佐」のイノシシ革を使用してマイ小銭入れ

作りに挑戦。猟友会駆除班の高橋さん(桜西)の協力で、元々廃棄されていた獣皮を廃棄することなく、一般の住民が活用できるという取り組みが実現しています。約30名の参加者にアドバイスいただくのは、加工技術を磨いてきた「産地牟佐塾」のスタッフです。この日は、山陽新聞の取材もあり、同月15日付の岡山市民版に紹介されました。

2022年(令和4年)11月15日 火曜日 岡山 34

岡山市民版 Okayama

山陽新聞 デジタル版 <https://www.san>

電子版なら他の地域版

駆除イノシシの皮で小銭入れ  
命を無駄にせず活用  
牟佐町内会 住民らクラフト教室




岡山市北区牟佐の牟佐町内会は13日、町内で捕獲、駆除されたイノシシの皮を使って小銭入れ作りを体験するレザークラフト教室を地元の北公民館牟佐分館で開いた。地域資源を生かして魅力発信……

完成した小銭入れ

町内では、おりを設けたり、狩猟免許を持つ住民が捕獲したりして駆除。今年13日時点で20頭だが、過去には年間50頭以上という。有害獣とはいえ、命を無駄にしないよう活用を……

町内会では、イノシシによる農作物被害が後を絶たない。町内では、おりを設けたり、狩猟免許を持つ住民が捕獲したりして駆除。今年13日時点で20頭だが、過去には年間50頭以上という。有害獣とはいえ、命を無駄にしないよう活用を……

町内会の黒岩正男副会長(82)は、イノシシの革製品について「軽くて丈夫で、摩擦にも強い」と使い心地の良さをPRしつつ「自然の恵みに感謝し、地域の盛り上げにつなげていきたい」としている。(三宅信行)

町内で捕獲、駆除されたイノシシの皮で小銭入れを作る参加者

用法を検討。2017年から皮で財布やスマートフォンケースなどを製作するようになり、2年ほど前から販売にも挑戦中だ。市が住民の活動を支援する区づくり推進事業も利用している。

13日の教室には住民ら約30人が参加。あらかじめ小銭入れに必要な大きさに切り取られた皮を手に取り、両面テープなどで貼り付け、縁を丁寧に手縫いするなどして完成させていった。

(4) 牟佐っ子ども教室：子ども会と協議した結果、昨年に続き、コロナ禍をふまえ中止しました。

7 牟佐公園トイレ掃除

ほぼ毎日の清掃を実施しています。町内会が市と委託契約をし、シニアクラブ牟佐(鏡原会長)へ再委託。市との契約では月に5回以上実施ですが、シニアクラブ牟佐の皆さんは、週に6回実施。お陰様で、きれいなトイレを維持し大変に好評です。

なお、牟佐公園全体の清掃はシニアクラブ牟佐が市から直接委託を受け、毎月の清掃活動は、きめ細かい対応がなされています。さらに、落書きを消したり、固まった砂場を耕運機で耕したり、砂場の蟻を除去したりと、細かいところまでお世話いただいています。



5月28日シニアクラブ牟佐の清水英夫さん(旭)による砂場の手入れ作業

8 県知事との生き生きトークに参加

備前県民局より「地域づくり推進賞」を受賞した団体と県知事との生き生きトーク(玉野市)への案内があり、11月25日に出席しました。自然豊かな牟佐を紹介するとともに、町内会に対する行政のかかわりと、民間分野での町内会に対する認知度が高まることへの期待を発言してきました。翌日の山陽新聞で紹介されました。

岡山・2022年11月26日(土)

地域活性化で意見交換

玉野で知事と生き生きトーク

空き家問題や人口減少

県民と伊原木隆太知事が直接対話する「知事と一緒に生き生きトーク」が25日、玉野市築港の産業振興ビルで行われた。学校教育のサポートや移住支援など特色ある活動で備前県民局の「地域づくり推進賞」を受けた6団体の代表が参加し、地域活性化の方策を巡って意見交換した。

玉野商工高の実習支援で実績を上げる宮原製作所(玉野市宇野)の宮原一也会長は人口減少、少子高齢化を踏まえ、「人が住み、勤める玉野にするための施策が一層求められる」と指摘。玉野への移住体験ツアーなどを催すのづくり実行委員会の森美樹代表は、入居できる物件の選択



知事と地域活性化の方策について意見を交わす参加者

牟佐町内会(岡山市北区)の田尻祐一会長は「住民の意見は危機意識に裏付けされておらず、空き家は多いという現状から、「空き家所有者に行動を促す動機づけが必要」と訴えた。

玉野市出身の漫画家は「住民の意見は危機意識に裏付けされており、重要なものばかり」として進めたインシシ駆除が、ジビエ料理などに使う取り組みにつながったことを紹介した。

岡山市青少年健全育成大会(市青少年育成協議会、市主催)が22日、中区桑野の岡山ふれあいセンターであり、明るい家庭づくり

明るい家庭 最優秀小

知事は「空き家や人口減少といった課題はどの地域にも共通する。熱意ある意見を受け、活力ある地域づくりの参考にしたい」と話した。(多田和代)

の作品によるまちおこしに取り組むNPO法人たまのの企画の伊達元英理事長、高齢者の移動支援を手がける吉備中央町通所付添サポート協議会(同町)の清水美恵子代表、近隣の小学校で科学の出前授業を行う岡山村田製作所(瀬戸内市)の佐々木俊和社長も発言した。

11/26

©山陽新聞社 無断複製転載を禁じます。

9 春の一斉道・溝掃除(6月5日)、秋の一斉道掃除・岡山市クリーン作戦(9月25日)

予定通り、全地区で実施してきました。6月5日の石原川下流域(刑務所東付近)の清掃については、官舎地区からも大勢の応援をいただいて無事故で清掃が完了しました。





## 10 土のうの作り替えと置き場の移動

これまで土のうが劣化する前に作り替えをしてきましたが、6月5日に官舎地区にも多数の協力をいただき全面的に作り替えをしました。併せて、岡山市の許可を得て、浸水の可能性が低く、直射日光の当たらない新大原橋の下を新たな土のう備蓄場所として決定し、新しい土のう約500個を移動させました。



土のうの作り替え作業



以前の置き場（牟佐公園の南）から積み込み移動



新しい土のう置き場（新大原橋の下）

## 11 避難所について

ハザードマップの見直しを受けて、令和4年から牧石小学校が指定避難所となりました。7月23日、牧石学区連合町内会として小学校の現地確認をしました。黒岩副会長が代理出席。

※ 令和2年10月18日(日)、3町内会自主防災組織(牟佐、大原、大久保)合同で、環太平洋大学第2キャンパスへ初の避難訓練を実施しました。令和3年度は、旭川の西側の玉柏3町内会(宮本、河本、平瀬)が合同で、前年同様の避難訓練を予定しましたが、日程調整つかず未実施。牟佐町内会としては、令和2年に参加できなかったであろう高齢者を中心にタクシー(マイクロバス)を使っでの避難の試行を検討していましたが、同様に未実施です。

## 12 自主防災組織について

令和元年6月30日付で結成した牟佐町内会自主防災組織。地区会長と町内会四役で構成しています。令和4年度は、市より新しい牧石学区ハザードマップのデータの提供を受け、学区で協力して印刷、全戸配布しました。

## 13 岡山市からの貸し出し用ポンプを借り受け

かねてより要望していた貸し出し用ポンプが、8月19日に到着し、大原排水機場の北側への設置と試運転を、大原町内会と合同で実施しました。11月12日には吸水管を引き上げ、ポンプを格納しました。牟佐町内会のポンプ操作員として次の5名に引き受けいただきました。

- 安藤寿史さん(旭)
- 住矢明彦さん(大塚)
- 行安茂樹さん(昭和会)
- 植田輝義さん(アグリ)
- 小林弘直さん(久保田)

14 第18回町内会運動会  
コロナ禍をふまえ中止

15 第13回牟佐ほのぼの文化祭  
コロナ禍をふまえ中止

16 「産地牟佐」もちつき大会  
コロナ禍をふまえ中止

17 牧石学区敬老会・友愛訪問(弁当配布)への準備等協力  
準備等協力は進めましたが、敬老会はコロナ禍をふまえ中止されま  
したが、友愛訪問は実施されました。

18 パソコンと遊ぼう  
コロナ禍をふまえ、ほぼ中止

19 イキイキ牟佐21(カラオケ)  
コロナ禍をふまえ休止してきましたが、再開しました。

20 憩いの広場(毎週木曜日午後)  
コロナ禍をふまえ休止してきましたが、再開しました。

21 刑務所矯正展(10月)が4年ぶりに再開。地元町内会として、うどん販売はないものの、新鮮野菜  
や「産地牟佐塾」のイノシシ革製品販売とワークショップを実施しました。



向こうに見える建物が大原排水機場  
(旭川の堤防より撮影)



矯正展会場に臨む産地牟佐塾メンバー



「産地牟佐」新鮮野菜コーナー



好評の「産地牟佐」イノシシ  
革加工ワークショップ

## 19 有害獣被害対策としての捕獲・駆除

猟友会駆除班が、箱ワナ、くくりワナを全域で細かく対応。この数年は鹿も駆除するようになりました。住民からのSOSに対して、被害の現地調査については、猟友会駆除班（寿：住矢一さん、桜西：高橋明さん）に、捕獲柵設置・撤去は住民有志の応援も。日常の捕獲柵の見回り等では、豊久さん（本町）ほか地元住民に、捕獲・処理は猟友会駆除班に全面的に協力いただき、黒岩副会長も捕獲後の手伝いに協力いただいています。令和4年度はイノシシ29頭、ハクビシン2匹捕獲。町内会としては、現在、大型捕獲柵を3基、小型檻2基を所有し、活用しています。

駆除班が捕獲したイノシシや鹿については、産地牟佐分については皮を町内会に提供いただきましたが、町外捕獲分についても廃棄するよりも活用ができればとの考えで一部提供いただきました。



写真は R3 年 5 月 29 日、修理後の組み立て作業風景



## 20 屋外拡声器の活用

防災行政無線の屋外拡声器が牟佐公民館と白鷺公民館に設置されています。白鷺公民館は緊急告知 FM ラジオと接続したもので、毎月第一金曜日に試験放送が行われています。単独利用も可能であり、牟佐公民館では、町内会のイベント案内にも活用しました。

## 21 防犯カメラの管理

西条地区（新大原橋下）、白鷺地区（前原池土手）各1基を市の補助（3分の2）を受けて設置・管理しています。令和4年度は、警察からの協力依頼があり、3回データを提供しました。

## 22 防犯灯の新設・更新

LED 化された防犯灯ですが、寿命10年と言われています。切れた場合は、灯具全体を交換しなければなりません。費用は1灯約2万円です。新設・更新、いずれも市の補助金額は1万円です。令和4年度は3灯を新設、4灯更新設置し、1月末現在で169灯を管理しています。ポール設置から必要な場合は設置費用が高額になるため、令和5年度から当面の設置を見合わせることにしました。

## 23 スズメバチの巣の撤去補助

市の管理区域内であれば、通報により市が即時処理しますが、民地内については、手を出しま

せん。そのため、当初、町内会が全額補助し撤去していましたが、会計への負荷もあり、徐々に補助率を下げて、現在は5割補助としています。特にお一人暮らしの方で、屋内にスズメバチが巣をつくり、部屋の中にたくさん飛んでいたケースもあり、業者の手配等、町内会がお手伝いさせていただきました。

24 行政等（市、県・警察、国、宇野バス、開発事業者等）への要望活動

各地区からの行政機関に対する要望は、まず、当局の現地立会を求め、その後、要望書を提出しています。農業用水路や農道などの農業施設については、農業水利土木員の長崎町内会副会長を通して要望対応を実施しました。

25 岡山刑務所との連携

コロナ禍以前は、毎年、町内会運動会への参加、夏まつり開催、矯正展でのうどん販売等、テント借用（町内会イベントへ）、刑務所内見学の実施などの連携がありましたが中止が続きました。

しかしながら、道・溝掃除への参加、周囲の照明の点灯ほか防犯対策、地元推薦の刑務所視察委員に安藤洋一さん（寿地区）を推薦などは例年通りでした。市との協定避難所として平成30年豪雨災害時には、避難所の開設をいただきました。

令和4年10月には、4年ぶりの矯正展開催となり、町内会も参画（上記21参照）させていただきました。さらに、お正月には公民館に見事な門松の設置もいただきました（写真参照）。



（平成30年7月豪雨災害による浸水被災後に、空になった備蓄土のうを復旧させる同年8月の土のうづくりの応援をいただいた。）



26 特別養護老人ホーム「牟佐げんき」との連携

コロナ禍が続き、訪問はすべて見送りとなっています。（本年2月の町内会役員会議には久しぶりに施設長による現況説明をしてもらいました。）

コロナ前は、町内会イベントへの参加をいただてきました（例年の町内会もちつき大会では、焼いもコーナーを重実施設長に担当いただき、サツマイモから道具まですべての提供を受けている。運動会では車いす4脚を借用）。町内会からは、施設の運営推進会議（年4回）への出席、施設内イベント（夕涼み会、敬老会ほか）への参加などがありました。コロナ禍以降、町内会として、書面にて行われる運営推進会議に参加しています。

令和3年度から、町内会における災害時要支援者への個別支援計画の作り方等で相談。今後の対応について、アドバイスをいただきながらの協議を進めています。

27 マイナンバーカード申請出張サポート in 牟佐

岡山市が積極的に推進しているマイナンバーカードの出前申請について、牟佐町内会として、9月～10月にかけて、公民館で4日間開催してもらいました。申請受付は合計87人でした。



## 28 牟佐地区こども園整備について

岡山市では、現在の牟佐保育園を移転し、認定こども園として社会福祉法人か学校法人に運営移管することを準備しており、町内会としても協力してきました。開催した日程は次のとおり。

11月20日 牟佐地区こども園整備について、地域の関係団体の代表に説明

12月18日 牟佐地区こども園整備に係る協議会の設立

1月15日 同協議会設立について、地元近隣地域への説明

1月22日 同協議会第2回会議

岡山市は、地元の意向を踏まえて、法人募集の準備に入った。

牟佐地区こども園整備に係る協議会構成員は次のとおり。

2022/12/2現在

牟佐地区こども園整備に係る協議会構成員名簿

No.	役 職	氏 名
1	牟佐町内会長	田尻 祐二
2	牟佐町内会副会長	黒岩 正男
3	牟佐町内会副会長	植田 昌太郎
4	牟佐町内会副会長	長崎 由憲
5	牟佐町内会庶務	豊久 寿子
6	牟佐町内会会計	植田 洋子
7	牧石学区社会福祉協議会副会長	須々木 巧
8	牧石地区主任児童委員	明石 真由美
9	牧石地区主任児童委員	大塚 邦江
10	牧石地区民生委員・児童委員	浜田 孝子
11	牧石地区民生委員・児童委員	長寿 和子
12	牟佐愛育委員会会長(牟佐町内会婦人部長)	藤本 孝子
13	牧石小学校PTA会長	時末 隆
14	牟佐保育園保護者会副会長	松尾 友加
15	牧石学区交通安全母の会会長	赤澤 佳代子
16	牟佐町内会子ども会育成会会長	山崎 恵利子
17	シニアクラブ牟佐会長	鏡原 憲二
18	牟佐町内会宮ノ下地区会長	坊野 純一
19	牟佐町内会太戸地区会長	高田 幸持
20	牟佐町内会昭和会地区会長	藤井 嘉文
21	牟佐町内会旭川地区会長	中力 啓太
22	地権者代表	長崎 勝
23	牧石小学校校長(オブザーバー)	森 和久
24	牟佐保育園園長(オブザーバー)	齋藤 早苗



1月15日近隣地域への説明会



1月22日第2回協議会

### 29 軽四輪トラックの活用

令和2年に寄贈を受け、保有している軽トラを活用しています。令和4年度も、町内会一斉清掃や資源化物の運搬等に活用しています。



6月5日土のうの運搬に活躍する軽トラ

### 30 資源化物の収集

リサイクル推進委員の福田さん(寿)が中心となり、黒岩副会長と一緒に、資源化物の収集、運搬等に尽力いただきました。

### 31 リサイクル推進委員の推薦:

定員3名。令和3年度から2年任期。現在は、大塚:安藤惣一郎さん、寿:福田順二さん、白鷺:森本稔さんの3名。任期は2年間(再任可)で、令和5年3月末まで。

### 32 牟佐まちづくり協議会

令和4年度は、コロナ禍をふまえ中止

牟佐町内にある、すべての地域関連団体を構成員として毎年1回協議している。

### 33 無線機(トランシーバ)の活用

①一斉清掃 ②歴史ウォーク等で活用した。台風接近時等には、会長、副会長宅へ持ち帰り、災害に備えています。町内の地域団体への貸出は了としています。



### 34 警察学校との連携

町内会から、入学式、卒業式、講習会等への出席。

令和4年度もコロナ禍により、地域からの出席は見合わせとなっています。

### 35 日本赤十字社の会費集金

毎年、日赤会費の集金は、牟佐婦人部に委託しています。



### 36 古墳ツアー受け入れ

西遊旅行(東京)の古墳ツアーを初めて受け入れました。事前の情報では、北は北海道から南は九州までの8名が参加+添乗員1名で、山口県から兵庫県まで古墳だけをめぐるとのこと。牟佐大塚古墳をPRする良いチャンスと考え受け入れることとしました。公民館にて平井さん(渡場)から大塚古墳などの歴史をレクチャー(写真上)。大塚古墳では、シニアクラブ牟佐(鏡原会長)が古墳内を投光器で照らしての説明をいただきました(写真下)。公民館では「産地牟佐」のイノシシ革製品を販売し、お



西遊旅行の古墳ツアー受け入れ協力

買い求めもいただきました。

37 岡山市歴史のまちしるべ看板活用

①林原古墳群 ②牟佐渡場 ③前原池北古墳(高月台地区)について、令和4年度も、歴史ウォーク等、町内会として活用しました。

※平成30年3月に設置完了しました。看板は、町内会が提出した資料等参考にしながら委託業者が文面等デザインを作成。業者と町内会とで、何度もやり取りし決定したもの。平成31年度は、牟佐大塚古墳の日本遺産認定をPRする歴史ウォークで活用。以降、毎年開催してきた歴史ウォークでも活用しました。さらに牟佐のアイデンティティ(牟佐らしさ)を高めることに活用したいと思います。

なお、前原池北古墳のある土地を保有し管理しているのは、団地を開発した業者で、現在は双日(株)です。

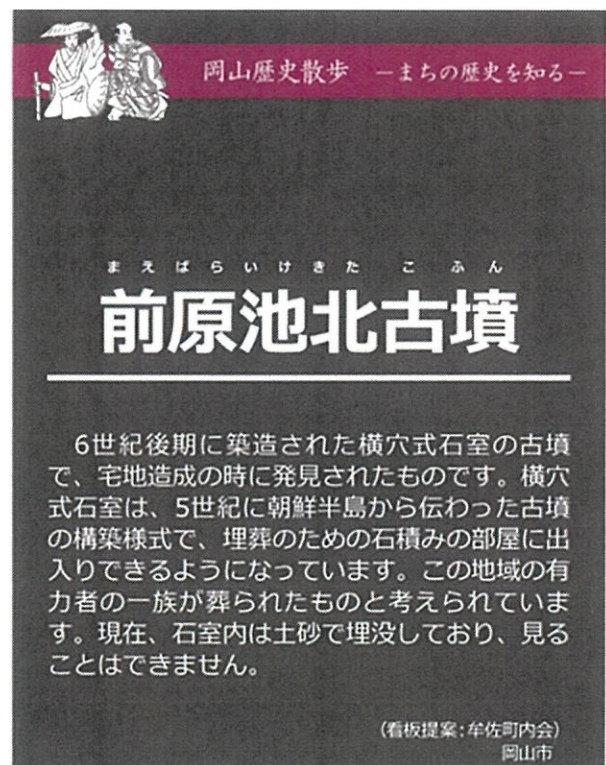
①




②



③




岡山歴史散歩 —まちの歴史を知る—



む さ わ た し ば

# 牟佐渡場

---




図の出典：岡山県立歴史博物館「山陽道と山陽道の歴史」岡山県立歴史博物館

古代から近世まで、牟佐渡場は陸路と水路が交差する交通の要衝で、山陽道や倉敷（林野）往來の渡船場・宿場町として、船番所や旅籠、土産物、雑貨等の店が軒を連ねていました。当地は現在も「渡場」と呼ばれており、賑わっていた当時の店の名称などが民家の屋号として複数残っています。

平成27年度岡山市区づくり推進事業「古代山陽道の復元と伝承」では、牟佐町内会がこれらを調査し、記録として残す取り組みを行いました。

(看板提案：牟佐町内会)  
岡山市

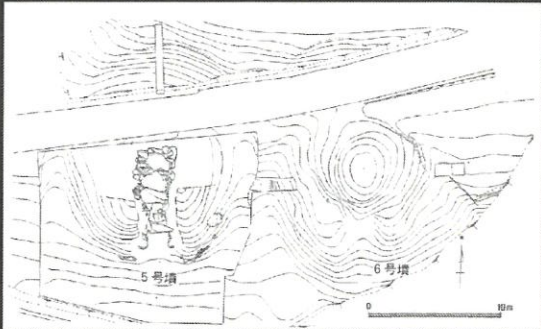
岡山歴史散歩 —まちの歴史を知る—



は や し ば ら こ ぶ ん ぐ ん

# 林原古墳群

---



図の出典：岡山県立歴史博物館「山陽道と山陽道の歴史」岡山県立歴史博物館

6世紀後半から7世紀前半に築かれた、直径十数メートルの円墳が8基あります。県道工事の際の発掘調査で、5号墳の横穴式石室から杯や平瓶（液体を入れる容器）などの須恵器、ガラス玉や耳輪などの装身具、鉄の鍔や太刀の鞘金具といった武器類が出土しました。

牟佐は東西陸路と南北河川交通の結節点で、巨大石室をもった牟佐大塚古墳（国指定史跡）とともに、この地域が古墳時代後期に繁栄したことを物語る貴重な古墳です。

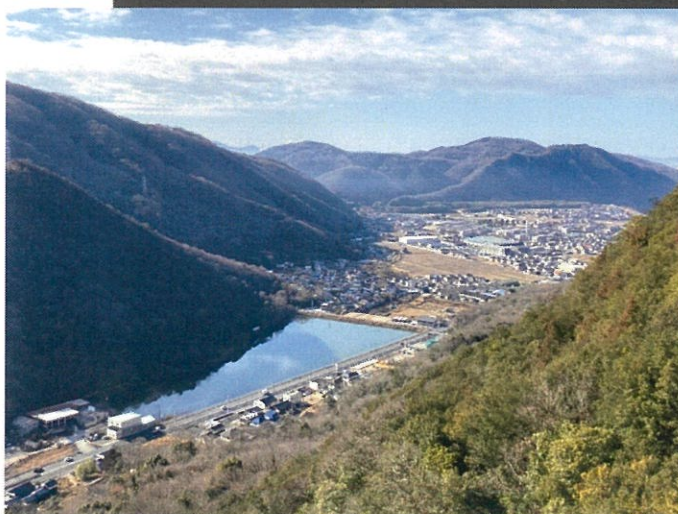
葬られているのは、舟を浮かべて旭川の水運を担った有力者一族かもしれません。

(看板提案：牟佐町内会)  
岡山市

## <我が町ひとこと紹介>

我が町内

「古代山陽道が通るまち」





## 令和4年度 牟佐町内会収支決算書

(収入の部)

令和5年2月1日作成

項目	金額(円)	摘要
前期繰越額	1,845,949	
町内会費	3,055,735	一般963世帯、賛助会員37世帯、準会員12世帯(計1,012世帯:うち規約上会員世帯数967世帯)
助成金	950,350	自治振興報奨金※(491,450:@490×965+18,600)、公園トイレ管理料(105,600)、もがり料、令和3年度区づくり推進事業(148,800)、リサイクル報奨金(23,600)、防犯灯補助(120,000)、防災マップ補助(20,000) ※市からの自治振興報奨金は前年度世帯数にもとづき支払われる。
共同募金	317,960	赤い羽根(291,930)、10円募金(26,030)
寄付金	30,000	栗原貴子様(本町)、長崎格様(太戸)、安藤博美様(本町)
雑収入	292,377	利子、NTT西日本、電柱敷地料、「産地牟佐塾」イノシシ革製品売り上げ(201,970)、歴史ウォーク参加費(14,500)、自動発酵機使用料(20,000)
収入合計	6,492,371	

(支出の部)

項目	金額(円)	摘要
会議費	47,722	お茶代
事業費	1,239,418	区づくり推進事業(311,128)、スズメバチ駆除助成(70,900)、防犯灯7灯(401,500)、借受ポンプ操作員5名保険料(59,740)、リサイクル推進員3名(30,000)、防犯カメラ保守(26,400)、公民館音響マイク(41,000)、白鷺地区屋外拡声器(11,000)、牟佐公園トイレ清掃委託(100,000)、電子町内会、憩いの広場、有害獣対策補助作業、ほか
役員活動費	1,088,800	町内会役員(56名)
光熱費	419,224	電気(393,044)・ガス代(26,180)
通信費	114,622	電話代およびプロバイダー料
助成金	641,130	各地区、子供会、婦人部、シニアクラブ、牟佐区、消防団、太戸の滝を守る会
負担金	181,750	消防後援会(35,000)、牧石連合町内会費(146,750)
土木費	0	
共同募金	317,960	赤い羽根(291,930)、10円募金(26,030)
慶弔費	105,000	お供え21件
印刷費	241,691	町内会新聞39号(47,003)、40号(20,808)、用紙代(75,680)コピー代(67,845)、町内会費領収書(25,075)ほか
事務費	14,664	事務用品
リース費	142,890	複合機リース(46,200)、輪転機再リース(9,900)、こうじ自動発酵機(75,350)、抜型ハンドプレス機(11,000)ほか
雑費	189,744	軽トラック車検代(104,610)、任意保険料(54,420)、お祭りお供え、穂崎区へ固定資産税(4,200)ほか
引当金	200,000	特別会計へ
償還金	173,592	牟佐区償還金(2回目)R3年~R22年
次期繰越額	1,374,164	
支出合計	6,492,371	

令和4年2月1日~令和5年1月31日

# 令和4年度牟佐町内会一般会計財産目録

令和5年1月31日現在

科 目	摘 要	金 額 (単位:円)
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
普通貯金	岡山市農協牧石支所	1,374,164
普通預金	中国銀行法界院支店	0
流動資産合計		1,374,164
2 固定資産		
有形固定資産		
土地(宅地)	牟佐字出口1013-2	未評価
土地(宅地)	牟佐字出口1014-1	未評価
土地(宅地)	牟佐246-2	14,279
土地(田)	牟佐字出口1019-1	6,654,972
土地(雑種地)	牟佐383-46	2,664,900
土地(雑種地)	牟佐字新田2622-4	3,630
土地(雑種地)	牟佐字新田2622-5	3,476
土地(墓地)	牟佐字塚の場2778-1	未評価
構築物	物置	475,733
構築物	物置(防災倉庫)	135,564
構築物	物置	未評価
構築物	駐輪施設(公民館敷地内)	177,000
構築物	白鷺地区集会所(木造2階建て)	1,640,894
車輦運搬具	軽自動車(貨物)	未評価
工具器具備品	ノートパソコン	539,440
工具器具備品	防犯灯(ポール付3灯含む)	3,573,450
工具器具備品	防犯カメラ	563,640
工具器具備品	カーブミラー	66,420
工具器具備品	カラオケセット	296,800
工具器具備品	噴霧器	20,895
工具器具備品	卓球台	52,500
工具器具備品	パソコンプリンター	41,040
工具器具備品	イノシシ捕獲器	690,400
工具器具備品	無線(トランシーバー)	174,312
工具器具備品	発電機	118,800
工具器具備品	ゴムボート	154,154
工具器具備品	救命浮環	24,464

工具器具備品	救命浮環	1個	令和2年市補助事業	24,464
工具器具備品	テント(3.0×3.0)	1基	令和2年市補助事業	83,820
工具器具備品	アルコール噴霧器(足踏み式)	1基	令和2年市補助事業	21,560
工具器具備品	白鷺公民館屋上拡声器	1基	令和4年リース終了、屋内機器含む買取価格	11,000
投資その他の資産	岡山市農業協同組合	8口	1口1,000円	8,000
出資証券				18,211,143
固定資産合計				19,585,307
資産合計 (A)				
II 負債の部				0
1 流動負債				0
流動負債合計				0
2 固定負債				
長期借入金				
車佐区借入金				
退職慰労金引当金	四役ならびに監事		令和2年7月借り入れ(3,400,000円、令和22年完済)	3,233,208
固定負債合計			平成13年1人、16年1人、27年1人、令和2年3人、監事2人	595,000
負債合計 (B)				3,828,208
正味財産 (C) = (A) - (B)				15,757,099

※固定資産の土地価格は、課税標準額によるものとした。岡山市によると、ごみステーションは周辺の5%の評価としている。

※固定資産の構築物(家屋を除く)および工具器具備品は購入時の価格を表示している。ただし、防犯灯は現在価格(灯具のみ@19,800、ポール込@95,550)で算定した。

※慰労金は、四役(会長、副会長、会計、庶務)および監事が退任した際に支払われるもので、内規に基づく。車佐区長兼任副会長の慰労金は車佐区と折半とする。

※令和2年購入の防災機材は、単品2万円(消費税込み)以上の物品を記載した。

### 令和4年度車佐町内会特別会計財産目録

令和5年1月31日現在

特別会計項目	科目	摘要	金額(単位:円)
イベント基金積立金会計	普通貯金	車佐郵便局	279,412
西条墓地会計	普通貯金	岡山市農協牧石支所	44,955
山崎墓地会計	定期貯金	岡山市農協牧石支所 5口	754,647
太戸墓地会計	定期貯金	岡山市農協牧石支所 4口	750,965
退職慰労金給付引当金	普通貯金	岡山市農協牧石支所	400,000
計			2,229,981

【参考】車佐財産区(車佐町内会分)管理費積立基金現在高  
令和4年9月30日現在 94 円

監事 平井 誠 大角 正秀

監事 平井 誠 大角 正秀

監事

監事 平井 誠 大角 正秀

監事

監事

第3号議案

令和5年度事業計画(案)

年 月	項 目
令和5年2月	会計監査、四役会議(2/4) 第6回役員会議(2/11) 資源化物業者搬入
3月	春の火災予防運動 町内会通常総会および第1回役員会議(3月11日(土)) 産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館) 憩いの広場(公民館:毎週木曜日) パソコンとあそぼう(※公民館会議室) 電子町内会運営委員会 ほのぼの文化祭準備会議
4月	春の交通安全運動の実施 牟佐大塚古墳にて、西遊旅行の古墳ツアー受け入れ対応(4月28日(金)) 避難訓練(防災資機材の活用)の準備 産地牟佐:区づくり推進事業・牟佐っ子ども教室準備会議 産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館) 憩いの広場(公民館:毎週木曜日) パソコンとあそぼう(※公民館会議室) 電子町内会運営委員会
5月	※ 第2回役員会議の開催(5月13日(土)19時:公民館) 町内会費上期分の徴収案内配布(7月15日までに町内会へ納める) 一斉道掃除・溝掃除および刑務所東側石原川の清掃(5月28日(日)) 産地牟佐:区づくり推進事業・牟佐っ子ども教室準備会議 第12回町内会ほのぼの文化祭の開催(5月20日【土】~21日【日】予定:牟佐公民館) 産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館) 学区敬老会参加対象者の希望調査および一人暮らし調査 憩いの広場(公民館:毎週木曜日) パソコンとあそぼう(公民館会議室) 電子町内会運営委員会(町内会新聞第41号編集会議) ※ 池の樋を抜く関係で、一斉清掃を1週間前倒してみました。
6月	避難訓練の準備 町内会新聞第41号発行(6月1日) 産地牟佐:区づくり推進事業・牟佐っ子ども教室準備会議 産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館) 牟佐まちづくり協議会:地域の支えあい、防災訓練、区づくり推進事業ほか 憩いの広場(公民館:毎週木曜日) パソコンとあそぼう(公民館会議室) 電子町内会運営委員会
7月	第3回役員会議の開催(7月1日(土)予定) 憩いの広場(公民館:毎週木曜日) 産地牟佐:区づくり推進事業・牟佐っ子ども教室(夏休み最初の日曜日) 産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館) 牧石学区敬老会参加者への案内準備(学区へ名簿提出) パソコンとあそぼう(公民館会議室) 電子町内会運営委員会
8月	精霊送り受付への協力(8月15日:シニアクラブ牟佐のボランティア) 刑務所夏まつりへの参加・協力 憩いの広場(公民館:毎週木曜日) パソコンとあそぼう(公民館会議室) 産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館) 電子町内会運営委員会

<p>9月</p>	<p>※                  第4回役員会議の開催(9月2日(土))                  町内会費下期分の徴収案内配布                  第19回町内会運動会実行委員会(9月2日(土)、9月23日(土))                  秋の道掃除と草刈・岡山市クリーン作戦の実施(9月24日(日):予備日は10月15日(日))                  「産地牟佐」手づくりみそ教室参加者募集                  産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館)                  秋の交通安全運動の実施                  憩いの広場(公民館:毎週木曜日)                  パソコンとあそぼう(公民館会議室)                  電子町内会運営委員会</p> <p style="text-align: right;">※ 運動会(10/1)が中止の場合は、道・溝掃除の予備日は、10月1日(日)になります。</p>
<p>10月</p>	<p>第19回町内会運動会の開催(10月1日(日):牟佐スポーツ広場)                  赤い羽根共同募金運動に協力                  ふるさとをきれいにする10円募金運動に協力                  「産地牟佐」手づくりみそ教室参加者説明会                  産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館)                  刑務所矯正展(10月7日(土)~8日(日)推定)への参加・協力(うどん、ぜんざい、野菜、イノシシ革製品等販売)                  岡山市(牧石学区)敬老会(牧石小学校:10月15日(日)ごろか?)                  憩いの広場(公民館:毎週木曜日)                  パソコンとあそぼう(公民館会議室)                  電子町内会運営委員会</p>
<p>11月</p>	<p>第5回役員会議の開催(11月4日(土))                  産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館)                  黄二ろふれあい祭のフリーマーケットに参画し、「産地牟佐」イノシシ革製品を販売                  牧山クラインガルテン収穫祭に参画し、「産地牟佐」イノシシ革製品を販売                  産地牟佐:区づくり推進事業・レザークラフト教室開催:対象は大人(11月12日(日))                  憩いの広場(公民館)                  パソコンとあそぼう(公民館会議室)                  電子町内会運営委員会</p>
<p>12月</p>	<p>もちつき大会の開催(牟佐公民館)12月3日(日)                  役員意見交換会の開催(牟佐区と合同)12月2日(土)                  日本遺産「桃太郎伝説」を構成する「牟佐大塚古墳」を活用したイベントの開催(12月10日(日))                  産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館)                  憩いの広場(公民館:毎週木曜日)                  パソコンとあそぼう(公民館会議室)                  電子町内会運営委員会</p>
<p>(令和6年) 2024年 1月</p>	<p>町内会新聞(元旦号)発行(第42号)                  憩いの広場(公民館:毎週木曜日)                  産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館)                  刑務所視察委員推薦                  パソコンとあそぼう(公民館会議室)                  電子町内会運営委員会                  「産地牟佐」手づくりみそ教室のみそ仕込み作業開始</p>
<p>2月</p>	<p>決算書・予算案の作成                  会計監査(2月4日予定)                  第6回役員会議の開催(2月10日(土))                  通常総会(3月10日(日))                  産地牟佐塾(毎週木曜日:公民館)                  憩いの広場(公民館:毎週木曜日)                  パソコンとあそぼう(公民館会議室)                  電子町内会運営委員会</p>

全体を通して	1	町内会加入促進の取り組み
	2	規約改正：町内会事務局の充実、役員交代などを検討
	3	災害時避難行動要支援者への支援個別計画の策定、避難訓練、防災訓練の実施、防災用土のう、資機材の準備・点検、水・食料備蓄の準備、防災資機材の点検
	4	朝市の復活
	5	地域の恵み(黄ニラ、パクチー、鮎、川ガニ、イノシシ、マツタケ、はちみつ、みそ等)の活用
	6	牟佐の歴史を保存・伝承、日本遺産おもてなしプログラム等参画
	7	高倉山、牟佐山等地域の山資源、自然資源の活用(炭焼き・山歩き等ワークショップ)
	8	牟佐の行事案内紙の発行
	9	「憩いの広場」や「イキイキ牟佐21」(カラオケ)などを通して、町内コミュニティの活性化、健康増進・介護予防活動の取り組み
	10	牟佐まちづくり協議会の活用(情報交換、地域の活性化)
	11	東岡山へのバス路線
	12	「地域の未来づくり推進事業」は市が平成30年度スタートし、令和5年度も継続の予定：周辺地域において、持続可能な地域づくりを目的に、NPO法人や企業、地域住民が行うコミュニティビジネスの創出など地域課題解決の活動を支援するもの。朝市の復活、みそづくりの継承・販売等に取り組みたい。
	13	支えあいの地域づくりの検討
	14	特別養護老人ホーム「牟佐げんき」との連携。
	15	下水道整備関係への対応。
	16	「電子町内会」の充実。各地域団体の最新情報の提供、牟佐の古い写真・資料を集めて保存・紹介したり、人物紹介、さらには動画・映像での紹介ができれば、非常に価値の高い地域情報を保存、蓄積(アーカイブ)、共有することができる。ここ数年は、地域住民の生活に役立つ内容載せていくことを検討している。
	17	小学校登下校時の見守り活動(学校支援ボランティア)への参加・協力、
	18	通学路の安全確保、カーブミラー・転落防止柵等交通安全施設の設置
	19	住民参加のパトロールと青色回転灯設置車両によるパトロールの実施
	20	防犯灯、防犯カメラの設置と管理
	21	町内会防災マップ作成
	22	イノシシ捕獲柵による安全な捕獲・駆除、スズメバチの巣撤去支援
	23	日本遺産「桃太郎伝説」構成文化財「牟佐大塚古墳」へのツアー受け入れ対応
	24	ほのほの文化祭で、テーマを「牟佐」とした写真展の開催
	25	自主活動への協力・支援(公民館活動、シニアクラブ牟佐、婦人部、子ども会、消防団、太戸の滝を守る会ほか)
	26	落書き対策、犬のフン対策、不法投棄対策ほか環境美化の取り組み、野焼きに対する啓蒙
	27	公園および公園トイレ清掃
	28	牟佐公園の芝生化検討
	29	消防団機庫跡地の活用(財務省所管)
	30	「産地牟佐塾」イノシシ皮革作品のネット販売およびフリーマーケットへの参画
	31	子ども食堂、居場所、学習支援ほか子育て支援
	32	地域の公的機関との連携(刑務所、保育園、牟佐げんき、郵便局、駐在所、警察学校、JAほか)
	33	道路整備、道路側溝、用水路、土木工事、防犯灯、横断歩道、カーブミラー、ガードパイプなど行政への要望書は、その都度提出。緊急性の高い道路陥没などは、土・日でも市に依頼する。
	34	新型コロナウイルス感染防止対策
	35	牟佐地区こども園整備への協力
検討事項		町内会独自敬老会、一日旅行など。

## 令和5年度 牟佐町内会収支予算書（案）

## 収入の部

費目	金額（円）	備 考
前年度繰越金	1,374,164	
町内会費	3,000,000	一般963世帯 賛助会員37世帯 準会員12世帯（計1,012:うち規約上会員世帯数967）
助成金	850,000	自治振興報奨金（@490×967+18,600）、令和4年度岡山市区づくり推進事業「『産地牟佐』にこだわった地域活性化」（以下「産地牟佐」）補助金、防犯灯設置補助金、公園トイレ管理料、もがり料など
共同募金	300,000	赤い羽根、10円募金
寄付金	10,000	
雑収入	100,000	「産地牟佐」イノシシ革製品販売、資源化物、自動発酵機使用料、日赤還付金
合計	5,634,164	

## 支出の部

費目	金額（円）	備 考
会議費	150,000	地区会長意見交換会など
事業費	900,000	電子町内会、防犯灯新設・取替、掲示板新設・修理、令和5年度区づくり推進事業「産地牟佐」、牟佐まちづくり協議会、憩いの広場、土のうづくり作業、リサイクル推進、牟佐公園トイレ管理、スズメバチ駆除行事保険（運動会、餅つき大会、レザークラフト教室ほか）、ポンプ操作員5名保険料、運動会参加賞ほか
役員活動費	1,100,000	町内会役員56名
光熱費	420,000	電気代、ガス代
通信費	120,000	電話代およびプロバイダー料、電波料
助成金	740,000	シニアクラブ牟佐、婦人部、子供会、牟佐区（もがり料含む）、消防団、各地区太戸の滝を守る会
共同募金	300,000	赤い羽根、10円募金
負担金	150,000	牧石連合町内会費（@150×967+2,000）
土木費	300,000	地区からの要望事業
慶弔費	50,000	お香典
印刷費	200,000	町内会新聞（41号・42号）、町内会規約、総会資料、印刷用紙、コピー代
事務費	20,000	事務用品
リース費	160,000	輪転機、複合機、自動発酵機（区づくり推進事業）、ハンドプレス（区づくり推進事業）
引当金	200,000	退職慰労金給付引当金特別会計へ
償還金	173,592	牟佐区へ借入金償還および利子（R2年借入。R22年まで20年払いの3回目）
雑費	60,000	固定資産税、お供え（おまつり）、軽トラ保険料
予備費	590,572	
合計	5,634,164	

令和5年2月1日～令和6年1月31日